

平成22年度 新潟県立歴史博物館 講座のご案内

後期(2010年10月～2011年3月)

日	曜	講座名	内容	対象	定員	集合場所	時間	講師・担当	持ち物等	申込方法
10月2日	土	企画展「シャルジャ、砂漠と海の文明交流」 関連講座 楔形(くさびがた)文字入門	世界の文字の中で最古とされる楔形(くさびがた)文字の書き方・読み方を学びます。	一般	50	研修室	13:30～15:00	西田 研究員	—	電話、葉書、 FAX、メール
10月3日	日	巡検 戦国時代の山城にのぼろう!	直江家が領主だった「与板城」に登り、城作りのありかたなどを見ながら戦国時代の山城について思いをめぐらせます。山頂まで進むと、江戸時代の痕跡がうかがわれる与板の町並みや、遠くの間山を見渡すこともできます。	一般	20	与板城跡 駐車場	13:30～15:30	長岡市教育委員会 与板分室主事 笠原典明 氏	—	電話、葉書、 FAX、メール
10月10日	日	10周年記念イベント 「魅惑のベリーダンスとポップスの愉しみ」	本場エジプトで学び、その後新潟市にスタジオ開校し、国内・外で活動を展開するベリーダンサー「ワルダ」による魅惑のダンスショーと、長岡商業高校音楽部の卒業生を中心とした吹奏楽団「楽団フィオーレ」による多様なジャンルで展開する楽しい演奏会です。	一般	150	講堂	13:30開演	ベリーダンススタジオ warda(ワルダ) 楽団fiore(フィオーレ)	—	電話、葉書、 FAX、メール
10月17日	日	企画展「シャルジャ、砂漠と海の文明交流」 記念講演会「アラビア半島を掘る」 佐々木達夫 氏	金沢大学佐々木達夫教授の20年以上にわたる湾岸諸国での発掘調査成果について、お話しいただきます。	一般	150	講堂	13:30～15:00	金沢大学 教授 佐々木達夫 氏	—	電話、葉書、 FAX、メール
10月24日	日	開館10周年記念連続講座「シリーズ日本海」6 環日本海における土器出現	日本列島における土器出現期、縄文時代草創期の土器は、付着物の炭素同位体年代測定値などで世界最古級となっています。また、東アジア各地では日本列島の土器出現期に近い年代測定値が示されています。そこで、日本海に面した地域を中心に東アジアにおける土器出現期とその背景について、その後の歴史的推移とともに考えます。	一般	50	研修室	13:30～15:00	宮尾 研究員	—	電話、葉書、 FAX、メール
10月31日	日	企画展「シャルジャ、砂漠と海の文明交流」 関連講座「沙漠の育んだ言葉 アラビア語」 羽賀 友信 氏	アラビア語は沙漠という特別な環境で形作られた独特の言語です。アラビア語の特徴や言葉から見えるアラブの文化や習慣についてお話しいただきます。	一般	50	研修室	13:30～15:00	長岡市 国際交流センター長 羽賀 友信 氏	—	電話、葉書、 FAX、メール
11月7日	日	開館10周年記念連続講座「シリーズ日本海」7 写真から見た日本海側の衣生活	ヨコ糸に古木綿をつかった織物「サキオリ」や、顔から頭全体をおおう覆面頭巾「ドモコモ」は、日本海側に広がる特色のある衣文化です。写真などの画像資料を見ながら、日本海側の衣生活について考えます。	一般	50	研修室	13:30～15:00	大楽 研究員	—	電話、葉書、 FAX、メール
11月13日 11月20日 11月27日 12月4日	土	楽しい古文書講座(中級編) 1・2・3・4	戦国時代末期から江戸時代初期に越後を支配した大名関係文書をテキストとし、当時の領主支配の軌跡や社会状況などを探ります。	一般	35	研修室	13:30～15:00	前嶋 研究員 渡部 研究員	—	電話、葉書、 FAX、メール
12月12日	日	開館10周年記念連続講座「シリーズ日本海」8 近現代 日本海を越えた人々	江戸時代から明治、大正、昭和にかけて、新潟県からは多くの人々が日本海を越えて活躍します。当講座ではその様子と背景について見直します。	一般	50	研修室	13:30～15:00	田邊 研究員	—	電話、葉書、 FAX、メール
12月18日	土	縄文土器からうかがう越後・佐渡(2) —三十稲場土器様式の頃—	縄文土器から分かる縄文社会の一面を述べると共に、三十稲場土器様式を通してみえてくる越後・佐渡の地域性を示します。	一般	50	研修室	13:30～15:00	寺崎 研究員	—	電話、葉書、 FAX、メール
1月8日	土	企画展「布のいのちと美～山崎光子コレクションのまなざし～」関連 体験講座 「糸紡ぎ」	綿から種をとり、そして糸車を使って糸をつむいでいく体験を通して、自然栽培された綿から糸へと生まれ変わっていく工程を実際に学びます。	一般、 親子	なし	研修室	13:30～16:00	岩淵 令子 氏	—	電話、葉書、 FAX、メール
1月16日	日	サイノカミ	越後の冬の民俗行事「サイノカミ」を実際に体験します。	一般、 親子	なし	館周辺 広場	15:00 点火	—	—	申込不要
1月22日	土	開館10周年記念連続講座「シリーズ日本海」9 日本海沿岸地域の布文化を読み解く —越後・佐渡を中心に—	ユネスコ世界無形文化遺産を生み出した雪国の越後地域、その布文化は奥深いものです。ここでは博物館収蔵実物資料を通して布文化の地域性、文化の伝播と受容などを具体的に解説します。	一般	50	研修室	13:30～15:00	陳 研究員	—	電話、葉書、 FAX、メール
1月30日 2月6日	日	古代の史料を読む 1・2	古文書講座の古代編です。奈良平安時代の文書や典籍の読み方を学ぶ講座です。	一般	35	研修室	13:30～15:00	浅井 研究員	—	電話、葉書、 FAX、メール
2月5日	土	体験講座 「草木染(コブナグサ・桜)」	草木(コブナグサ・桜)染めの体験を通して、天然の染料で、自分のオリジナリティ色を楽しみながら学びます。	一般	15	研修室	13:30～15:00	岩淵 令子 氏	藍色に染めて みたいハンカチやス カーフなどの もの	電話、葉書、 FAX、メール

2月19日	土	企画展「布のいのちと美～山崎光子コレクションのまなざし～」関連 体験講座「糸紡ぎ」	1月8日(土)の「糸紡ぎ」と同じ内容です。	一般、 親子	なし	研修室	13:30～16:00	岩淵 令子 氏	—	電話、葉書、 FAX、メール
2月27日	日	企画展「布のいのちと美」関連 シンポジウム「越後の布文化」 基調講演「越後の民俗服飾」 山崎光子氏	県内のアンギン、しな布と藤布と出会い、「民俗服飾」という新しい研究分野の中で模索していた山崎光子氏に越後の民俗服飾文化についてお話いただきます。続いて、山崎氏をコメントーターに加え、長井久美子氏、高橋由美子氏、國井千寿子氏から「越後の布文化」をキーワードに報告していただきます。	一般	150	講堂	13:30～16:00	県立新潟女子短期大学名誉教授 山崎光子氏 新潟県民俗学会 長井久美子氏 十日町情報館 高橋由美子氏 さんぼく生業の里企業組合 國井千寿子氏	—	電話、葉書、 FAX、メール
3月5日	土	企画展「布のいのちと美」関連 体験講座「布あそび、雛あそび」	布で遊び学びながら、吊るし雛づくりの体験をします。	一般、 親子	20	研修室	13:30～16:00	上村さよ子 氏	—	電話、葉書、 FAX、メール
3月13日	日	企画展「布のいのちと美」関連 講演会「布に映る人と暮らしー布とのつき あいを考えるー」 宮本八重子 氏	布を調査研究し、また自ら布とのかかわりも深くもちながら実践してきた第一人者です。その見地を分かりやすく語ります。	一般	150	講堂	13:30～15:00	日本民具学会 理事 宮本八重子 氏	—	電話、葉書、 FAX、メール
3月19日	土	企画展「布のいのちと美」関連 体験講座「糸紡ぎ」	1月8日(土)の「糸紡ぎ」と同じ内容です。	一般、 親子	なし	研修室	13:30～16:00	岩淵 令子 氏	—	電話、葉書、 FAX、メール
3月20日	日	開館10周年記念連続講座「シリーズ日本海」10 雪国と博物館	博物館は地域の特徴を現します。日本海は「雪国」のイメージがあり、特徴づけるキーワードの一つが「雪」ということになります。「雪」をテーマとした博物館を確かめることで、日本海という地域を見つめ直します。また、「雪」以外にも日本海を特徴づける博物館を探ってみます。	一般	50	研修室	13:30～15:00	山本 研究員	—	電話、葉書、 FAX、メール
3月27日	日	開館10周年記念連続講座「シリーズ日本海」11 日本海海運と人・物・文化	日本海海運において、交流した人・物・文化を優しく概説します。あれっと思うような事物や文化が形成される大きな礎となったのが日本海運の恩恵であったことが手に取るように理解できます。	一般	50	研修室	13:30～15:00	野堀 研究員	—	電話、葉書、 FAX、メール

<申込方法・手続き>

・申込方法は、「電話」「葉書」「ファックス」または「メール」での申込となります。いずれも、希望講座名、お名前、住所、電話番号の4項目を明記してください。

* 講師都合等による実施日の延期(中止)ということもあります。その際、申込者にはご連絡をいたしますが、お申込されていない方へはご連絡できませんので、ご注意ください。

※ 申込先

〒940-2035 新潟県長岡市関原町1丁目字権現堂2247番2 新潟県立歴史博物館 交流普及課
FAX:0258-47-6136 TEL:0258-47-6135 メール:koryu@nbz.or.jp

※ お申し込みいただいた際の個人情報、今後の講座や講演会・イベント等のご案内に使用させていただくことがあります。

携帯電話からの申し込みメールはこちらからのQRコードをご利用ください。



平成22年度 新潟県立歴史博物館 館外で実施する講座のご案内

日	曜	講座名	内容	対象	定員	集合場所	時間	講師・担当	持ち物等	申込先
10月13日	水	出前講座:新潟市曾野木地区公民館 民俗学へのいざない「すし」の文化誌 ーこれも寿司 あれも鮓 みんなスシー	昨今、世界的な「スシ」ブームです。一方、すしネタとなる高級魚が漁獲制限などで入手が難しいといわれています。子どもから大人まで、老若男女に広く好まれている「すし」。新潟県の事例をも取り混ぜ、その歴史的変遷をもたどります。担当は、「くだおれ」の街・大阪出身で、食文化を語らせたらウルサイ。是非とも多くの方々に、ご興味いただきたい講座です。	一般	120	新潟市 曾野木 地区公 民館	10:00～11:40	野堀 研究員	—	新潟市曾野木 地区公民館 025-280-6810
11月18日 11月25日 12月2日 12月9日	木	出前講座:新発田市紫雲寺地区公民館 楽しい古文書講座(初級編) 1・2・3・4	基本的な文字のくずしや言い回しなどについて学び、古文書に親しむことを目的とします。対象者は古文書初級者として。	一般	35	新発田市 紫雲寺 地区公 民館	13:30～15:00	田邊 研究員	—	新発田市紫雲 寺地区公民館 0254-41-2291
11月14日	日	新潟県立自然科学館連携事業 体験教室 火おこし(2回)	キリモミ式(手で火きり棒を回す)で火おこしをします。	一般・ 小中 学生・ 親子	各40	県立 自然 科学館	①13:00～ ②14:30～	交流普及課員	—	県立自然科学 館で当日受付
12月5日	日	新潟県立自然科学館連携事業 体験教室 まが玉づくり(2回)	滑石(かっせき)を使って、まが玉作りをします。完成したら持ち帰れます。	一般・ 小中 学生・ 親子	各40	県立 自然 科学館	①13:00～ ②14:30～	交流普及課員	—	県立自然科学 館で当日受付